



せきやんが答えます!
～Q&Aのコーナー～

第6回
Q:蓮華台って
どんな意味があるの?



こんにちは! 今回はお墓の蓮華台について書かせてもらいます。右の写真が蓮華台のついたお墓ですが、皆さんもお墓参りの時に一度は見かけたことがあると思います。ちなみに蓮華台のついてお墓は仏教徒の証です。では仏教において蓮の花にはどんな意味があるのでしょうか?

死者の供養をするとき、お葬式はもちろん、お仏壇やお墓には必ずお花を供えます。これを供花と言います。死者に花を捧げることはネアンデルタール人が起源だったと言われています。また仏教ではお釈迦様をご臨終の前に弟子達にされた最後の説法に『ストウパー(今で言うお墓のことです)に花輪、香料、顔料を捧げて礼拝し、心を清らかにして信ずる人々には長いあいだご利益と幸せが起きる』と説かれたという経典も残されています。このようにとても古くから火や花は世界各国に共通して死者を祀ることにもちいられてきました。中でも供花の習慣がもっともはやく、私達がお墓参りで花をそなえる習慣はなんと6万年以上も昔から続いているのです。



↑蓮華台付きのお墓です

→お釈迦様の誕生像です。台には蓮の花の彫刻が施されています。



インド産の蓮は古くから世界中に分布していました。中国では仏教以前から蓮を君子の花とされ、日本の古事記や万葉集にも出てきます。また、蓮華はお釈迦様の誕生を告げて花を開かせたという伝説も生まれています。



こういったことから仏教や仏法を表す代表的な花はもちろん蓮華です。有名な法華経の正式名は妙法蓮華経で、法華とは大百蓮華のことです。華嚴(けごん)経にも奈良の東大寺の大仏様が修行をされたとき蓮華蔵世界を厳かに飾られたとあります。華嚴の華は蓮華です。また浄土宗、浄土真宗のお経にも極楽浄土の蓮池に蓮の花が咲いていると書かれています。もちろん禅宗のご本尊様も蓮華台に座っておられます。

このようにすべての仏教宗派に共通して蓮華台が使われます。それは蓮華が仏教の根本的なシンボルであるからにはほかなりません。

蓮華はよごれた泥の中から清らかな花を咲かせます。仏様は悟りを開いて仏となった尊いお方です。その証として蓮台に乗っておられます。平安中期に浄土のおしえが広まりお念仏を唱えた人はすべて浄土に生まれ、成仏し亡くなった人も蓮華台に座ることが出来るということです。

こういったことからお墓に蓮華台をつけるのは、亡き人が成仏し極楽往生した証ということで知られています。ただし、関西地方では蓮華台をつけるとお墓の丈が高くなりすぎるなどの理由で制限がある墓地もあるようです。

どうですか? 普段何となくお参りしていた方も背が高く掃除がしにくいなあと思っていた方も、意味を知るとまた違った目で見れるんじゃないでしょうか。

では次回をお楽しみに!!

皆さまのご質問、どしどしお待ちしております!

STAFFだより



専務 小路口 和弘(32)

最近は日も長くなり春らしい陽気の日が多くなってきましたが、急に強い風が吹いたり地震が起きたりでなかなか趣味の釣りに出かけることができません。

さて、今回は普段施工させて頂いている墓石工事の基礎工事について書かせて頂きます。

新規で巻石から施工させて頂く場合通常、基礎工事から始まります。まず墓地の区画内を20~30センチ程度掘り下げます。掘り下げる深さは土地の地盤で前後します。場合によっては杭などを打ち込みます。

次に碎石を敷き詰めて転圧します。墓石の基礎部分は4方を石で囲み真ん中を土で残すため囲いを造り水が抜けるようにします。敷地が広い場合は同様に土で残す部分を囲います。その後鉄筋を10~15センチ間隔で配筋し結束します。石を据え付けるのに適当な高さをレベル器で確認します。その後コンクリートを流し込みコテなどを使い水平にならしていきます。固まるまでしばらく養生したのちに枠を取り除いて基礎工事が完了します。ここまでの工程で1日~2日程度かかります。(養生期間は含まず)今くらいの時期は作業もはかどりますが夏場は正直きついです。墓地は影が少ないのと照り返しで相当暑いです。なので場所によっては早朝から作業させて頂いたりします。

この後巻石の施工になりますがまた、次回紹介させて頂きます。



深井 将太(24)

毎朝8時から約30分間の清掃活動を会社一丸となって取り組んでおりますが、始めた当初はたばこの吸い殻、空き缶、犬や猫などの排泄物、一番驚いたのが大きなビニール袋に入った生活ゴミです。このようなものがたくさんありましたが、『継続は力なり』でしょうか? 確実にゴミの量は減少傾向にあると思います。

毎朝通勤、通学の方がたくさん通る中、「いつも、ご苦勞様です。」「ありがとう。」などとお言葉を頂くこともあり、励みにさせていただいております。

その毎朝の清掃活動ですが、私が特に気をつけているのが道端に生えている雑草を除去するということです。小さな雑草でも生えていると道自体が汚く見えてしまい、ポイ捨てをしてもいいだろうという気持ちになってしまうのでしょうか? 私個人の体感的なものです。道の雑草を抜き、伸び放題になっていた植え込みを刈り整えると翌日のゴミの量は少なくなっていると感じました。ゴミが無い環境を作るにはゴミを捨てにくい環境を作ることが大事なのだと思っています。

この活動を通じて継続させることの難しさ、自分の甘さを痛感することもあります。綺麗になったときの清々しさや、達成感は何なものにも代え難いものだと感じております。



↑清掃活動スタート時の道端の写真です。



↑毎朝の活動で綺麗な道路になりました。